

二 独立混成第六十四旅団の編成および奄美群島派遣

独立混成第六十四旅団司令部は、昭和十九年七月十二日、軍令陸甲

第八三号により、独立混成第三十二聯隊と共に、留守第五師団長を勤

員管理官として臨時勤員を令せられ、七月二十四日、山口(独立混

成第三十二聯隊は、高田利貞少将(東本陸軍大学飛行兵学校長)が、神せられ、  
成第三十二聯隊は、廣島)においてその編成を完結した。軍令陸甲第

八三号に示された独立混成第六十四旅団の編成、  
編制定員

は次のとおりである。

独立混成第六十四旅団司令部 一一四

独立混成第三十二聯隊 二二三〇

本部、通信隊、第一、第二、第三大隊(各大隊は、中隊、小隊、班、隊)

0046

歩兵砲中隊、速射砲中隊、工兵中隊  
独立混成第三十三聯隊

二二三〇

独立混成第三十一聯隊に同じ。

重砲兵第六聯隊

九七七

本部、第一、第二、第三、第四中隊

右編合内部隊のうち、独立混成第三十一聯隊および重砲兵第六

聯隊

は、独立混成第六十四旅団長の現地到着と同時にその

編合内に入るように規定された。

独立混成第六十四旅団は、  
昭和十九年七月二十日

昭和十九年七月二十日

下令)に入り、

旅団は、その戦

速やかに奄美群島に向う

べき命令を受領した。

0047



✓

之島に前進  
昭和十九年八月十九日徳之島辺土野に上陸し

ナリ、こととナリ、

先着の独立混成第六十四旅団長の虚掌握下に入った。

0049